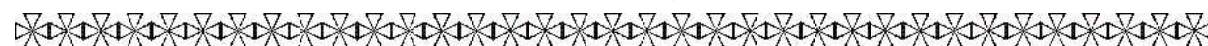


さんぼみち

発行者
 兵庫県立総合リハビリテーションセンター
 リハビリテーション中央病院
 〒651-2181 神戸市西区曙町1070
 TEL (078) 927-2727
 FAX (078) 925-9203



高次脳機能障害を持つ患者さんの家族の方へ

神経内科

最近、オレオレ詐欺や、振り込み詐欺が横行し、訪問販売や宗教勧誘などのトラブルも後を絶ちません。たくさんの市民が被害に遭っていますが、高次脳機能障害を持つ患者さんはより被害に遭いやすいと考えられます。



特に一見して健常に見える障害の比較的軽度な、失語症、認知症、健忘症や遂行機能障害の患者さんは要注意です。失語症では日常会話レベルは何とかこなせても早口で一方向的に話されると内容が理解出来なくなったり、緊張して自分の言いたいことを伝えられなくなるケースもあるでしょう。「いや」と思っても「はい」と答えることもあり得ます。認知症ではいくら軽度でも思考力や判断力は十分とはいえません。

健忘症ではその場では理解して行動しても後で思い出すことができなくなる可能性があります。遂行機能障害があると計画性が無くなりまた自分の行動を内省できないため欲しいものをどんどん購入したり、契約したりすることがあります。自分の名前が書けて印鑑が押せれば契約は成立します。実際に当院の患者さんでも家族の知らない間に、借金していたり、不必要なものを買わされていたケースがありました。

このようなことの対策として、成年後見人制度の手続きをして法的に患者さんを守るといった方策もありますが、周りを取り巻く家族や友人が患者さんの状態を理解し人の手で守ってあげることが大事だと思います。

このようにこの対策として、成年後見人制度の手続きをして法的に患者さんを守るといった方策もありますが、周りを取り巻く家族や友人が患者さんの状態を理解し人の手で守ってあげることが大事だと思います。

深部静脈血栓症とその予防

深部静脈血栓症とは・・・

看護部

深部静脈血栓症は世間では「エコノミークラス症候群」とも言われています。下肢や骨盤の深いところにある太い静脈（深部静脈）に血の固まり（血栓）が生じた状態を言います。その血栓が肺の動脈をふさぐ（肺塞栓症）と、胸痛・呼吸不全・心停止を引き起こし、稀に生命にかかわる重篤な状態になることがあります。

血栓は、外傷や骨折、手術、糖尿病や高脂血症、悪性腫瘍、妊娠など血管内皮の損傷や凝固亢進状態が原因で起こります。また、手術後の安静や飛行機内で長時間座っていたり、肥満・高齢のために動きが少なくなり血流が悪くなっておこることもあります。

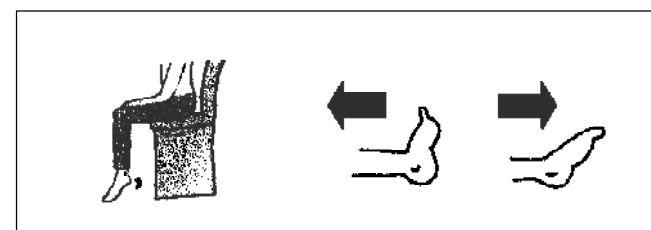
昨年起こった新潟県中越地震でも、狭い車の中で長時間座っていたことが原因で何名かの方が命をおとされています。



予防策は・・・

- * 下肢の運動や弾性ストッキングの着用により血液の循環を良くし血栓を作りにくくしましょう。下肢の運動は足関節を曲げたり伸ばしたり、ストレッチ体操などがあります。弾性ストッキングを使用するときは、自分のサイズにあったものを着用しましょう。
- * 脱水も血栓の原因になります。十分水分を摂るようにしましょう。1日1,000～1,500mlが目安です。

疑問や質問のある方は看護師にご相談ください。

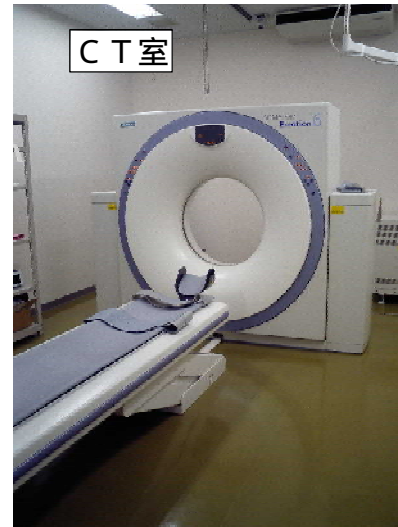


MDCT (マルチスライスCT)

検査・放射線部 (旧放射線科)

CTはコンピュータ断層法 (Computed Tomography) の略です。文字どおりコンピュータを使って身体の輪切り (断面: 断層面) をみる装置で、当院では11月下旬に検出器が6列あるマルチスライスCTが導入されました。

マルチスライスCTとは、X線の検出器を複数用いることで、X線の管球1回転当り1枚の画像を得ていた従来のCTに比べて、短時間で多くの断面を撮影できる最新のCTスキャナーです。



※こんなことができます。



従来のCTと比較すると撮影時間が大幅に短縮され、同じ時間でより詳しく検査することができるので、より精細な画像が撮影でき、血管や骨、臓器などの立体表示 (3D) をさせることが可能になりました。また例えば胸部の場合は10数秒で撮影が出来、1回の息止めで検査が終了となります。このように検査時間が短縮されることで、検査の待ち時間も少なくなり、より快適に検査に望んでいただくことが可能になります。

人は動脈とともに老いる

検査・放射線部 (旧研究検査部)

“A man is as old as his arteries” William Osler (1848-1919)

動脈硬化は誰にでもおこります。食生活や運動不足、ストレスなどにより進行するはやすさは個人差が大きく、ひどくなると脳梗塞・脳出血・心筋梗塞などの大きな病気になってしまいます。

早期であれば生活習慣の改善や運動療法・食事療法・内服治療によりこれ以上進行させないように改善できるので、病気になる前に、またなってしまった方も再発防止のために、現在の血管の状態を知っておくことが大切です。

当検査部では生活習慣病予防・対策に関する検査として以下のような検査をしています。

動脈硬化度検査 (ABI) .. 腕と足の血圧を同時に測り、血圧の比率や血流速度で動脈の硬さや閉塞程度がわかります。

所要時間約10分

体液量検査 (インボディ) .. 微弱な電流を流し、抵抗値で各四肢や体幹別の脂肪・筋肉量や全身の浮腫がわかります。(現在は立位可能な方のみ)

所要時間約5分

頸動脈エコー ... 経皮的に頸部の動脈をエコーで描出し、血管内膜+中膜の厚さ (IMT) や狭窄率、血流速度を計測します。

所要時間約15分

